

～空き家の再生、子どもと飛行機製作、日本一のコマ製作など多様な活動勢ぞろい～

## 2016年度「学生プロジェクト」15団体の活動がスタート

芝浦工業大学（東京都港区／学長：村上雅人）では、学生が自主的に企画・立案し、プロジェクト活動を行う「学生プロジェクト」を2003年より実施しています。このたび今年度のプロジェクトが決定し15の多様な活動がスタートしましたのでお知らせいたします。（2枚目に活動団体・活動内容一覧を添付しています）

全国的に広がる空き家を活用する取り組み、大学近隣地域の子どもたちとのワークショップ、日本一のコマ製作など毎年、個性的なプロジェクトが学生たちにより展開されています。大学外に出て社会と協働するものも多く、建学の精神「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を体現する本学の特徴的な取り組みとなっています。

### ■「学生プロジェクト」8月の活動例

#### 空き家改修プロジェクト



8/4(木)～12(金)、29(月)～9/2(金)

#### 静岡県の船チケット売り場を改修

全国的に広がる空き家を改修し地域コミュニティの場をつくることを目的としています。

今年は、静岡県東伊豆町の船のチケット売り場（岬の館）の改修を進めています。東伊豆町の新たな観光拠点、観光客と地域の人々が交流する場、地域のコミュニティを促進する場に改修をします。1月末竣工を目指して8月中にも2週間程滞在し、施工塗装を進めると共に地域の子どもとのワークショップを開きます。

#### 宇宙開発団体 Hoper's



8/12(金) ペットボトルロケット教室 開催

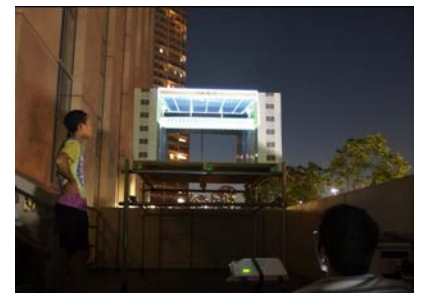
「宇宙開発」をキーワードにものづくりを行っています。小型模擬衛星を製作して技術を磨くほか、豊洲の地域において、ペットボトルロケット教室や、紙飛行機製作教室を実施することで、子どもたちにものづくりの楽しさを伝える活動を行っています。8月12日には、ららぽーと豊洲にて親子で楽しめるイベントを開催します。（小学生対象、1日3回実施、各回30名（先着順））<http://www.sithopers.com/>

### ■学生プロジェクトとは

学生たちは、既存のクラブ・サークル、研究室以外のメンバーで新しいチームを組み、それぞれのプロジェクトを企画・実行していきます。学長を委員長とする「学生プロジェクト選考委員会」による選考会にてプロジェクトが採択されると、1団体につき年間50万円を上限に活動資金が援助されます。

また、大学ブランド力の向上を図る「①大学チェンジ部門」、地域の活性化を図る「②社会貢献部門」、グローバルな視野を持った活動の「③グローバル部門」、以上3部門に該当しない自由でユニークな活動の「④自由部門」と4つの部門を設定し、活動の目的・成果を明確にしています。

これまで「技術」「ものづくり」「地域」「子ども」「グローバル」など多様な視点からプロジェクトが実現してきており、学生の提案で始まった小さなプロジェクトが活動を重ねて地域や行政などの協力を受け、社会を動かす大きな活動になったものもあるなど、社会からの評価も得ています。



豊洲水彩まつりでプロジェクションマッピングを実施する団体（2015年度）

この件に関するお問い合わせ・取材については下記までお願い致します。

発信元：芝浦工業大学 経営企画部企画広報課 鮫島 〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14

TEL：03-6722-2900 FAX：03-6722-2901 E-mail：koho@ow.shibaura-it.ac.jp



# 2016年度 第14回学生プロジェクト

## 採択プロジェクト概要

### SIT-A (シータ) ミラノ チャレンジ

毎年秋に東京・青山で開催するクリエイティブの祭典Tokyo Design Weekへ出展し、11万人を超える来場者に「シバウラのケンチク」をPRします。グランプリは、世界最大級の見本市「ミラノサローネ」への参加が認められるため、ミラノで世界的な媒体に芝浦工業大学の名前を掲載させることにチャレンジします。

### すみだの`巢`づくりプロ ジェクト

下町情緒あふれる墨田区は、路地文化が今なお残る貴重なものである一方、老朽化した木造建築物が密に建ち並び災害の危険性が高い地域と言われています。そのまちの魅力を守りながら、福祉・医療、地域住民、商店街など多くの人と連携した学生らしいまちづくりを行います。

### 笑顔のまち なこそ復興プロジェクト

福島県いわき市勿来（なこそ）地区の復興活動として、現地でのボランティア活動、まちの復興の様子やまちの魅力を発信するマップの作成などを行います。学園祭では勿来の食材を使った出店の出店や活動の展示を行い、学生や被災地以外の住民へ勿来地区について広く周知していきます。

### 宇宙開発学生団体 Hoper's

「宇宙開発」をキーワードにものづくりを行う団体です。小型模擬衛星を製作して技術を磨くほか、豊洲の地域において、ペットボトルロケット教室や、紙飛行機製作教室を実施することで、子どもたちにものづくりの楽しさを伝える活動を行っています。

### ものづくり×クリエイティブ ×アート「Shiba Lab」

「ものづくり」「クリエイティブ（アイデア、創造力）」「アート」をテーマに活動し、芝浦工大生に「自分でモノを作る」という楽しさを広めていきます。学園祭でのインタラクティブ空間アート出展や、Webメディア発信によって学外にPRし、芝浦工業大学の知名度を上げます。

### 空き家改修プロジェクト

全国的に広がる空き家を改修し地域コミュニティの場をつくることを目的としています。今年、静岡県東伊豆町稲取の東海汽船の事務所跡に郷土資料室、2階には絵本や子供向けの本などを地域住民からの寄付で集め小さな図書館をつくり、東伊豆町の新たな観光拠点、観光客と地域の人々が交流する場、地域のコミュニティを促進する場になります。

### プロジェクトマッピング 発信プロジェクト

プロジェクトマッピングという日本ではまだまだ未発展と言われるコンテンツに対して新たな視点でコンテンツを制作し、大学の知名度向上を図ります。地域のお祭り、学園祭などでの発信により、誰でも気軽にプロジェクトマッピングに関われるようにします。

### MediA-RT

授業で取り扱うロボットテクノロジーを使用して、それをアート作品として芝浦祭やオープンキャンパスにて身近なかたちで表現します。さまざまな人にものづくりの面白さを知ってもらい、ものづくりの難しいイメージを払拭します。

### International Communication Project

留学生と一緒に交流イベントの企画・運営を行い、異なる文化・価値を理解しあう学内の環境づくりを目指しています。芝浦工大生の留学や国際交流に対する意識を高める企画の運営、留学生の学生生活のサポートも行います。

### まちラボおみや プロジェクト

2014年に大宮の将来のまちづくりについて考えるオープンな公共スペース「まちラボおみや」が誕生しました。この施設をより学生目線で活性化できるよう、さいたま市民や自治体職員、東京藝術大学、東洋大学などと連携しながらまちづくりを行います。

### 石垣島をもっと元気にす るプロジェクト

日本有数のサンゴ生息地である石垣島のサンゴ礁保全活動を行っています。年に数回石垣島へ足を運び、サンゴ礁保全団体や小学校、行政関係者、観光協会、農業関係者と協力し、現地調査やサンゴ礁保全のためのイベントを開催します。島民が自主的にサンゴ礁保全ができるよう活動していきます。

### 日本一のコマを作る

「全日本工業コマ製造業コマ対戦」という全国の町工場がコマで技術力を競う大会に参加し、優勝を目指すとともに芝浦工業大学の技術力をアピールします。自分たちの技術力を高め、また実際に働いている方から技術を学び芝浦工業大学の学生に伝えます。

### Global Dormitory Project

大宮キャンパスにある国際学生寮生が集まったプロジェクト。学生へのグローバル化の意識向上のほか、寮の近隣地域住民を巻き込んだイベントの開催実施などを予定しています。

### COLOR MY TOWN

さいたま市見沼区と大宮区を対象にワークショップイベントや製作物の展示を行います。地域を横断した住民参加型のまちづくり活動を展開することで、人々が持つまちの記憶や思い出を想起・表出させ、住民とともにまちの魅力を見いだします。

### 木沢の「わ」プロジェクト

徳島県那賀町木沢地域の活性化を実現するために、徳島周辺の大学の学生を誘致するイベントを企画・運営し、新たな交流人口を増やすとともに他学生団体との共同イベント開催を目指します。また、住民や周辺の学生などを主体とした地域活性化のモデルケースを創出します。

大学チェンジ部門

社会貢献部門

グローバル部門

自由部門